

SDGs 体感未来都市 こおりやま

- 「誰一人取り残さない」
“ No one will be left behind.”
- 「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」
“ Nothing about us without us.”
- 「地球に替わる惑星はない」
“ There is no Planet B.”

SDGsで「広め合う、高め合う、助け合う」こおりやま広域圏

～ 次世代につなぐ豊かな圏域の創生～

1	「郡山市」及び「こおりやま広域圏」の概要	- 3 P
2	モデル事業に取り組む背景 ~	- 4 P ~ 6 P
3	こおりやま広域圏における2030年のあるべき姿	- 7 P
4	モデル事業の概要	- 8 P
5	三側面をつなぐ統合的取組(補助対象事業の概要) ・	- 9 P ・ 10P
6	相乗効果(統合的取組によって生じる相乗効果)	- 11P
7	自立的好循環	- 12P
8	統合的取組の普及展開性	- 13P
9	S D G s の理解と実践	- 14P

1 「郡山市」及び「こおりやま広域圏」の概要

City of Koriyama, Fukushima Prefecture JAPAN

郡山市

- 人口：331,639人(経済県都)
(現住人口:2019年4月1日現在)
- 面積：757,20 k m²



時間軸で見る
郡山のロケーション

1. 首都圏の第四環状線
(常磐道～磐越道～関越道)
2. 東京駅から77分
(東京から3番目：大宮・宇都宮・郡山)
3. 大阪(伊丹空港)から70分

「知の結節点」こおりやま

高速交通網の拠点で、学術・研究機関など「知」が集結

郡山の強みを生かした連携推進

オープンイノベーション、チャレンジ・スタートアップ、ICT・カレッジ、セーフコミュニティ 等



産総研福島再生可能エネルギー研究所
(郡山市)



ふくしま医療機器開発支援センター
(郡山市)



福島県ハイテクプラザ
(郡山市)



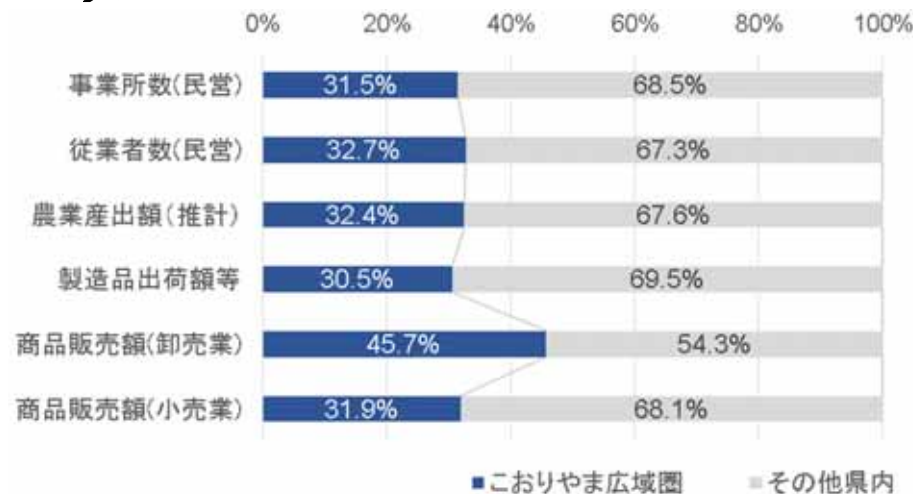
日本大学工学部
(郡山市)

こおりやま広域圏連携中枢都市圏(2019年3月)

- 構成：4市7町4村(中心市：郡山市)
- 人口：約59万人(福島県の約3割)
- 面積：約2,968 k m²(福島県の約2割)



〔例示〕産業項目別県内シェア



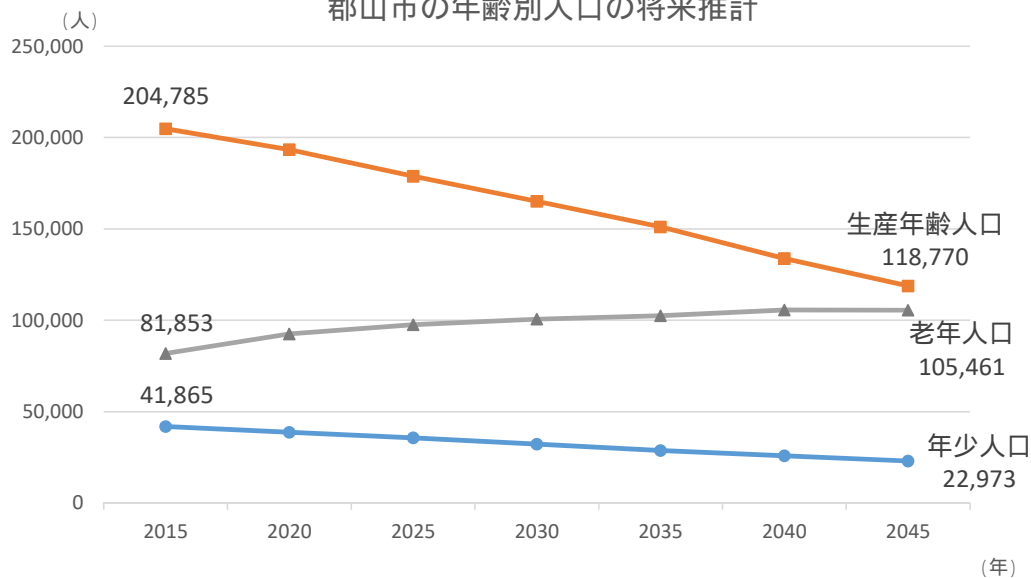
■ こおりやま広域圏 ■ その他県内

2 モデル事業に取り組む背景

City of Koriyama, Fukushima Prefecture JAPAN

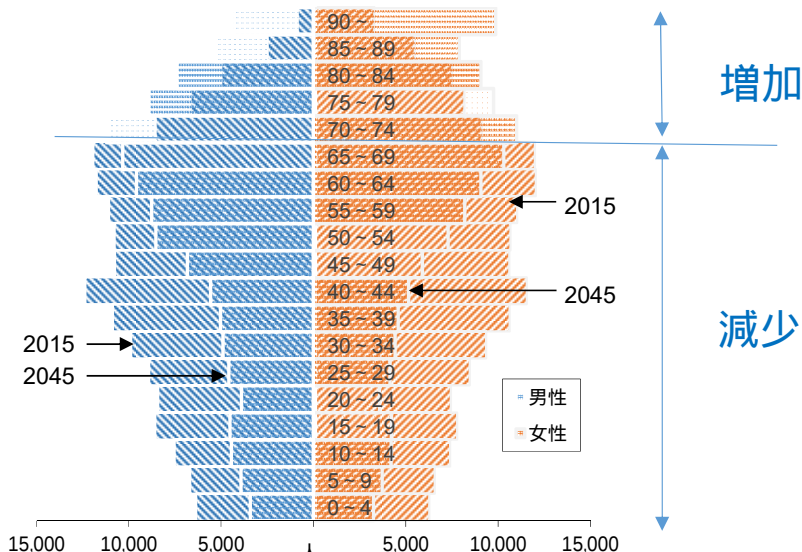
- 2045年郡山市人口は247,204人(2015年比26.3% 減少)
(2015年：335,444人 2045年：247,204人)
少子高齢化が一層進行
- 2045年：4人に1人が後期高齢者(75歳以上人口割合：25.3%)
- 『健康寿命の延伸』 2045年：20-74歳人口を生産年齢人口に捉え直すと62.5% 現在の生産年齢人口比率：61.8%を維持可能

郡山市の年齢別人口の将来推計



「郡山市の年齢別人口」「郡山市の将来推計年齢構成比」は、「国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2018年3月)」の福島県推計値準拠により郡山市独自推計
2015年の本市総人口には年齢不詳者(6,941人)が含まれるため、折れ線グラフ等には表示されていない。

【郡山市の将来推計年齢構成比】



2015年総人口	335,444人	2045年総人口	247,204人
うち75歳以上 (構成割合)	40,766人 (12.2%)	うち75歳以上 (構成割合)	62,626人 (25.3%)

- 郡山市の生産年齢人口
2015年：204,785人 2045年：118,770人(2015年比42.0% 減少)
- 郡山市の老年人口
2015年：81,853人 2045年：105,461人(2015年比28.8% 増加)

「自助」はもとより「互助・共助」で支える側に

2 モデル事業に取り組む背景

City of Koriyama, Fukushima Prefecture JAPAN

○ 2011年3月11日、東日本大震災発生

子どもを含む全世代の健康確保が重要

除染情報ステーション

除去土壌等の搬出の進捗状況や流れ、市内の放射線量等の情報を、大型タッチパネル等で分かりやすくご覧いただける展示コーナー「除染情報ステーション」を市役所本庁舎1階市民ホールに設置しております。

※平成26年10月から英語表記でもご覧いただけるようになりました。

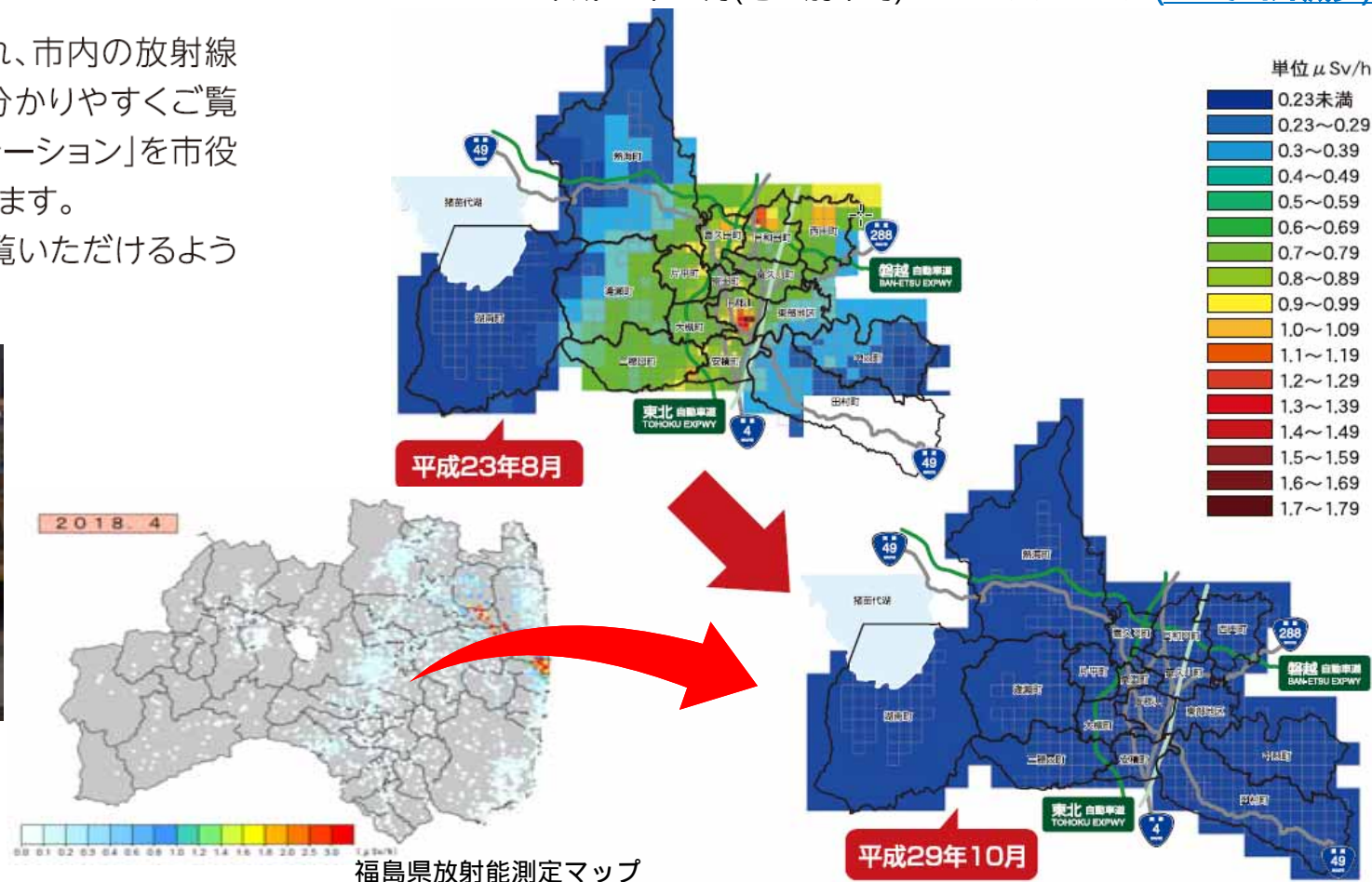


平成26年2月に市役所内に設置

■ 空間放射線量(郡山市原子力総合対策課)

平成23年3月15日(福島県郡山合同庁舎)：最大毎時8.26 マイクロシーベルト

平成30年11月(地区別平均)：0.12 マイクロシーベルト(98.6ポイント減少)



2 モデル事業に取り組む背景

City of Koriyama, Fukushima Prefecture JAPAN

【国連サミット】（2015年9月）

- 国連で採択されたSDG s の17の目標のひとつに、「すべての人に健康と福祉を」



【持続可能な開発目標（SDG s）推進本部:持続可能な開発目標（SDG s）実施指針の概要】（2016年12月）

- 8つの優先課題のひとつに、「健康・長寿の達成」

【未来投資会議】（2019年3月20日未来投資会議資料）

- 実証研究によれば、主観的幸福度に与える影響は、「健康」が最も大きな要因
- 不健康な者の不安感の増加は、健康な者の不安感の減少よりも大きい。
- 不健康になると、さらに「健康」の価値を高く感じる

【全国知事会】 （2018年11月15日）

「少子化対策及び
子どもの貧困対策
の抜本強化に向け
た緊急提言」の要
請について

【全国知事会：健康立国宣言】（2018年7月27日全国知事会）

- 74歳まで実質的な生産年齢として活躍できる社会の実現
- 生活習慣病の発症・重症化予防による生活の質(QOL)の向上、医療費削減

健康寿命の延伸は

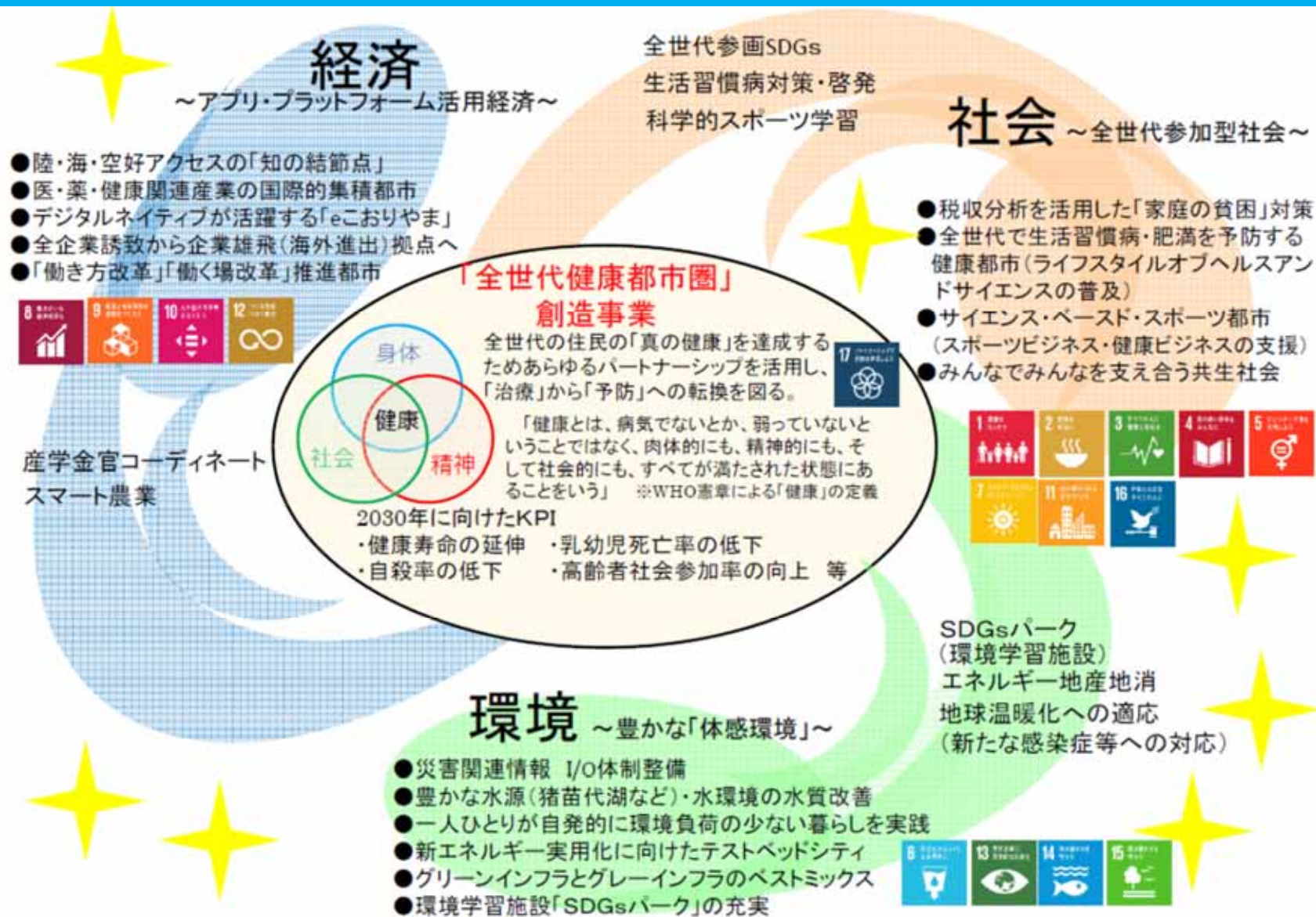
国においては、「社会保障制度の持続可能性」を高める。

人口減少が進む地方においては、「地域の持続可能性」を高める。

「健康」は市民生活の質の向上だけでなく、「産業」や「社会活動」を支える重要な基礎である。

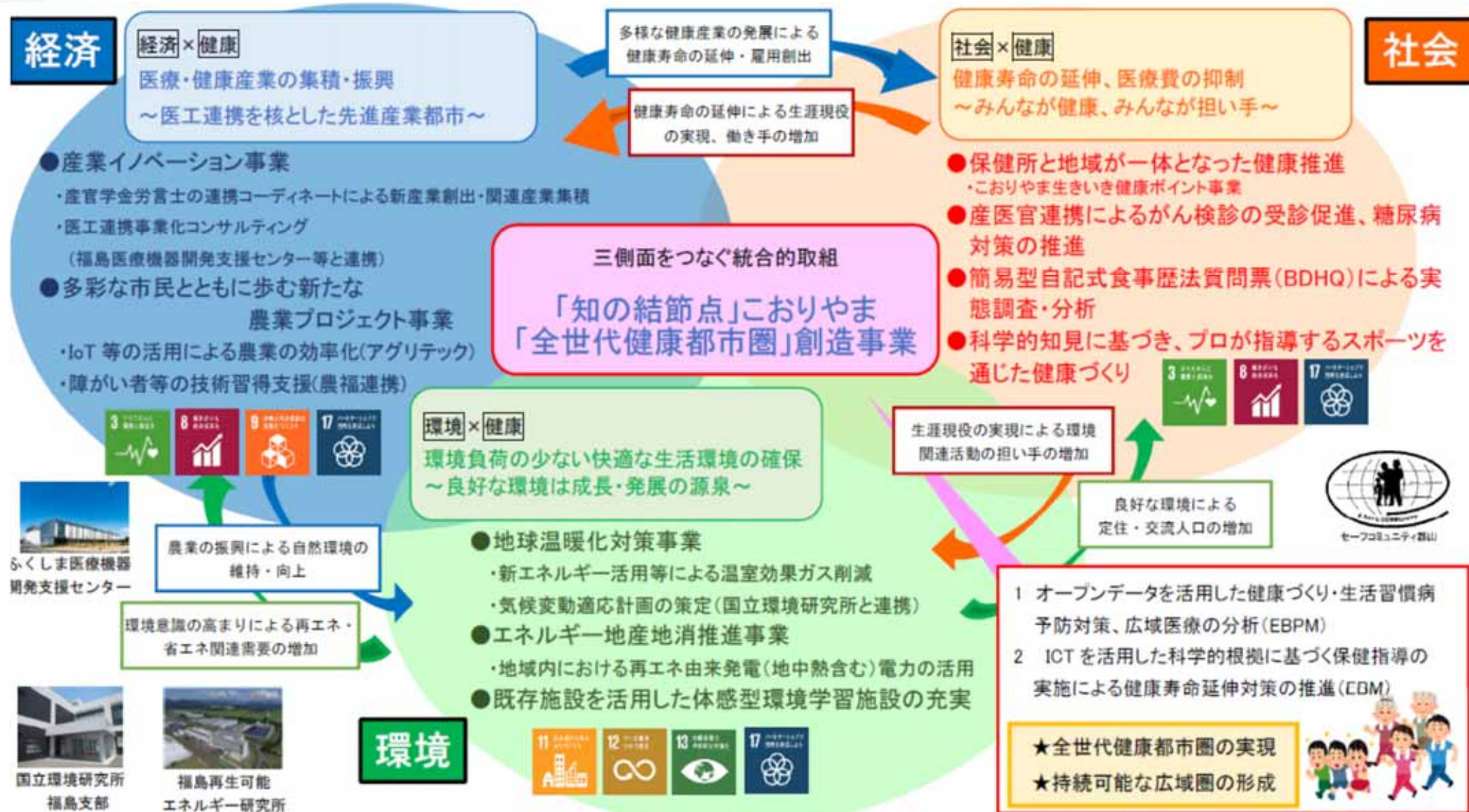
3 こおりやま広域圏における2030年のあるべき姿

City of Koriyama, Fukushima Prefecture JAPAN



4 モデル事業の概要

City of Koriyama, Fukushima Prefecture JAPAN



5 三側面をつなぐ統合的取組(補助対象事業の概要)

City of Koriyama, Fukushima Prefecture JAPAN

■ 三側面をつなぐ統合的取組

「知の結節点」こおりやま「全世代健康都市圏」創造事業

 オープンデータを活用した健康づくり・生活習慣病予防対策、広域医療の分析（EBPM）

 ICTを活用した科学的根拠に基づく保健指導の実施による健康寿命延伸対策の推進（EBM）

 多様なステークホルダーとの連携（民間事業者、高等教育機関、研究機関等その他、産学官労言士との連携）

 セーフコミュニティ取得団体との連携（2018年2月認証取得(県内初、国内15番目、世界で391番目)）

 郡山市の取組みを「こおりやま広域圏」へ

 医療・健康面におけるイノベーション 新たな医療・健康産業の創出

**セーフコミュニティの推進
全世代健康都市圏の実現
持続可能な「こおりやま広域圏」の形成**

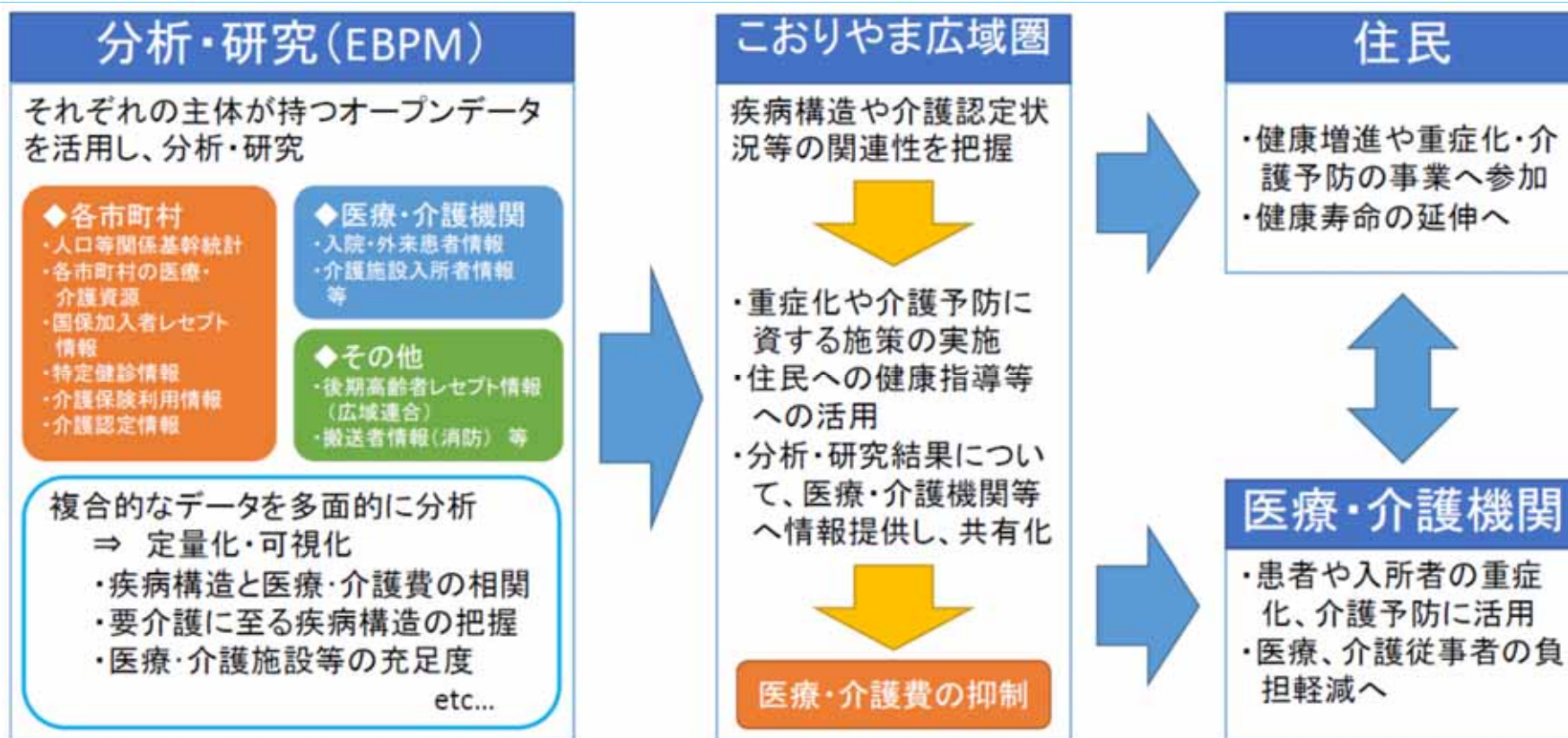


EBPM（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング）
証拠に基づく政策立案
EBM（エビデンス・ベースト・メディスン）
根拠に基づく医療

5 三側面をつなぐ統合的取組(補助対象事業の概要)

City of Koriyama, Fukushima Prefecture JAPAN

- 「医療・介護・健診データ」+「疾病構造や医療・介護費との相関」等 「定量的に可視化」
- 保健事業・介護予防事業等を「こおりやま 圏域住民」に拡大 圏域住民の「健康寿命の延伸」
「圏域の医療費・介護給付費の適正化」
- 民間事業者（ノボ ノルディスク ファーマ株式会社等）+ 高等教育機関（福島県立医科大学）との連携による
郡山市の糖尿病重症化予防 「こおりやま広域圏」に拡大
- データに基づくバックキャストの視点 未来を担う「子どもたち」への支援につなげる



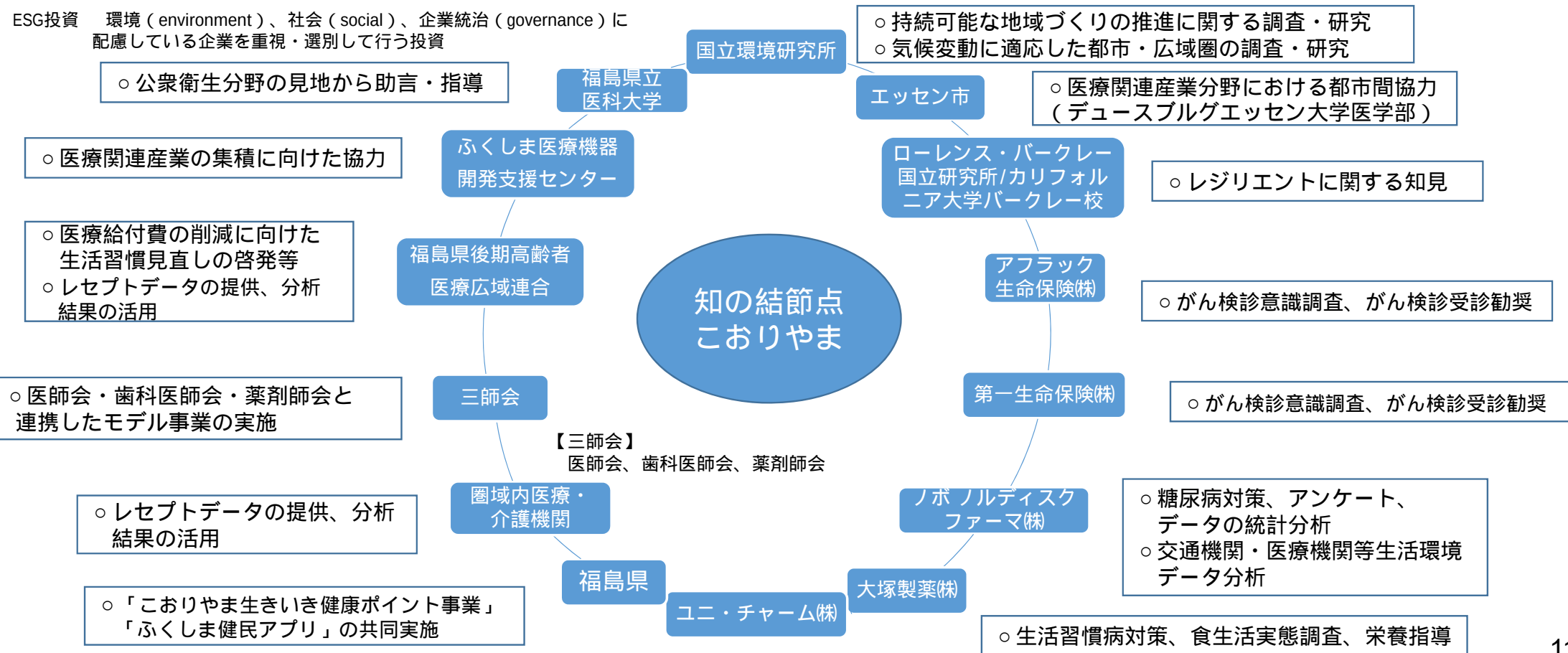
【糖尿病重症化予防研究事業】

- 相手方：(一財)医療情報システム開発センター
- 協定：本市国民健康保険加入者の健康増進を図るために協定を締結(2017年10月10日)
- 内容：26人から同意を得られた日から2019年3月まで、PHR(パーソナル・ヘルス・レコード)によるスマートフォンアプリでのお薬手帳と糖尿病連携手帳に係る情報電子化を行う実証実験を実施。

6 相乗効果(統合的取組によって生じる相乗効果) ~ 多様なステークホルダーとの連携 ~

-  オープンデータ等の多面的な調査・分析 健康面のエビデンス蓄積 産学金官労言士との連携
 (福島県ユニセフ協会、福島労働局、JICA、(株)恒和薬品(現:東北アルフレッサ株))等 230件の協定(2019年3月現在))
医療・健康面におけるイノベーション **新たな医療・健康産業の創出**
 **新たな医療・健康産業の創出** 「投資を呼び込むビジネス機会の創出(ESG投資)」 「地域経済の活性化」

ESG投資 環境(environment)、社会(social)、企業統治(governance)に配慮している企業を重視・選別して行う投資



7 自立的好循環

City of Koriyama, Fukushima Prefecture JAPAN

- 「経済」「社会」「環境」に向けた取組みの基礎は「健康」 生活習慣病予防や介護予防の知見蓄積
「エビデンス」に基づく施策（EBPM） 「健康寿命延伸」
- 「健康」による医療・介護費削減 個人・自治体における削減分 リソースを他分野へ
- 「環境問題」が「健康問題」との意識付け 「環境」に配慮した生活様式 省エネ機器の購入
「経済」と「環境」の好循環
- 生涯現役人口の増加・多様なステークホルダーの参画 地域コミュニティの活性化 交流人口・関係人口・
定住人口の増加 地域企業の人手不足解消や外国人材の活用 による労働力確保
「地域経済の活性化」「地域の持続可能性確保」



「健康寿命延伸による好循環」

次世代につなぐ豊かな圏域の創生



「地域経済の活性化」「地域の持続可能性確保」

8 統合的取組の普及展開性

City of Koriyama, Fukushima Prefecture JAPAN

2019年度～2021年度までの3年間事業展開スケジュール概要

多様なオープンデータの活用
多様なステークホルダーの参加

2030年度：目標

2021年度

- ・圏域内の保健師・管理栄養士による、タブレット等を活用した科学的根拠に基づく保健指導の実施
- ・圏域全体で生活習慣病・重症化予防へ取り組む
健康格差縮小・健康寿命延伸

2020年度

- ・圏域市町村において、分析結果を踏まえた施策を立案
- ・医療・介護機関等へ分析結果の提供・共有
医療・介護費の抑制へ
- ・保健指導システムの構築

2019年度

- ・圏域市町村や医師会等の団体、医療・介護機関等が持つ複合的データを収集・抽出
- ・医療分析専門事業者において、レセプト分析や要介護に至る原因疾患などを分析



「こおりやま広域圏」とともに



9 S D G s の理解と実践

City of Koriyama, Fukushima Prefecture JAPAN

■これまでの取組み（2018年度）

郡山市SDGsセミナーの開催

目的：SDGsの導入に向けて、基礎的理解を高める。

日時：2018年7月30日 13:30～16:00

内容：第1部「地方創生に向けた自治体SDGsの推進について」
第2部「地方創生に向けたSDGsの視点から見るこおりやま広域圏」



参加者：約160名（一般企業、研究機関、郡山市議会議員、こおりやま広域圏職員など）

内閣府地方創生SDGs官民連携プラットフォームへの参加

地方自治体や地域経済に新たな付加価値を生み出す企業、NGO・NPO、大学・研究機関等広範なステークホルダーとの連携を促すプラットフォームとして内閣府が設置。

【分科会への参加】

2018年11月29日郡山市職員2名参加「企業版ふるさと納税を活用したSDGsの推進について」

官民共同によるSDGsワークショップの開催

目的：郡山市SDGsセミナーで学んだ知識を深め、実践へと繋げる。

国立環境研究所 福島支部、うつくしまNPOネットワークとの共同開催。

内容：「SDGsから郡山の未来を考えるワークショップ」全3回開催

日時：第1回2018年9月20日、第2回10月19日、第3回11月27日

参加者：JICA、民間企業、NPO団体、郡山市職員等 延べ約70名参加



SDGs日本モデル宣言(2019年2月28日郡山市賛同)

SDGsの周知啓発

【庁舎各所へのポスター、サイネージの掲示】【ピンバッジ着用、内閣府作成リーフレットの配布】



■2019年度の取組み

【郡山市、こおりやま広域圏による理解と実践】

- こおりやま広域圏によるSDGsフォーラムの開催
- 学術機関や民間団体等と連携したワークショップ開催
- 市民向け・小中学生向け出前講座の開催
- SDGsクラブの設立
- 官民共同によるワークショップの開催（2018年度～）
- 小中学校との連携
（郡山市内小中学校へユニセフ協会刊SDGs読本配布）

【郡山市ウェブサイト等を活用した理解と実践】

- WebサイトやSNSを活用した周知啓発
- 普及・啓発グッズの作製、イベント等での配布
- 市立図書館に「SDGs関連書籍特設コーナー」の設置
- MAPINGの活用

【国内外関係自治体、地元高校等と連携した理解と実践】

- 姉妹都市（国内・国外）を通じた情報発信
- 産業分野で連携しているドイツエッセン市等を通じた情報発信
- スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された安積高校によるSDGsに基づく課題研究

■自治体SDGsモデル事業に選定された暁には

【地元報道機関等と連携した一般向けSDGsイベントの開催】

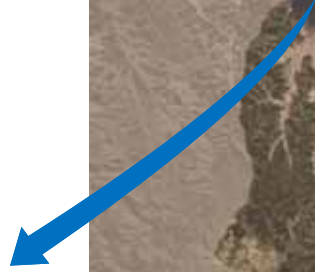
- 郡山にゆかりのある有名ミュージシャンによるテーマソング作成
- イベントブースによる普及啓発

【既存施設を活用した環境学習施設(仮称SDGsパーク)設置】

- 身近な環境や世界規模の環境問題について学べる環境教育拠点



本市の水がめ（永遠の水源地）



衛星写真データ：2018 Google、DigitalGlobe